

# 千葉大学 COC+連携事業活動実績概要

## 【館山市】2D/3D デジタル造形技術に基づく歴史的造形資源の保存・活用・共有を通じた地域活性化

千葉大学との連携により、市立博物館所蔵の「万祝型紙」から集積した図柄データを活用した試作品の展示・紹介や文化財（仏像・彫刻等）の3Dデータ化による取り組みを通じ、地域固有の歴史的造形資源をアーカイブとして記録・保存するとともに、当該資源を活用した商品化や地域文化の担い手創出を目指す。

※事業期間：平成27年度～令和元年度（5か年）

### 平成27年度（2015年度）

#### 【連携事業】

- ・ 12月6日（日）、千葉大学で開催された公開市民講座「安房を彫る」に商工観光課の池田主任学芸員を講師として派遣。約150名が参加。

#### 【調査・研究事業】

- ・ 渚の博物館にて、館山市立博物館所蔵の万祝型紙撮影（データ取得）。ブックカバーやランプシェードなど、試作品の製作を開始。

### 平成28年度（2016年度）

#### 【調査・研究事業】

- ・ 万祝型紙撮影データの加工作業。
- ・ 南房総市・小松寺にて、十二神将像の3Dデータ取得及び特別公開のサポート。

### 平成29年度（2017年度）

#### 【連携事業】

- ・ 9月16日（土）～18日（月・祝）、“渚の駅”たてやま「渚のギャラリー」にて、万祝型紙データを活用した試作品を展示するとともに、これまでの活動をパネルで紹介。
- ・ 9月16日（土）、“渚の駅”たてやま海辺の広場レクチャールームにて、小松寺所蔵の十二神将像の小型レプリカに、アクリル絵の具で色付けを行うワークショップ「十二神将色付け体験」を開催。
- ・ 12月、丸の内にある千葉県の期間限定アンテナショップ「ちば I・CHI・BA」にて、万祝の柄をデザインしたラベル仕様のシロップやポン酢を販売。
- ・ 2月15日（木）、市企画課主催の「恋人の聖地」活用事業者情報交換会に研究室2名が参加し、市内事業者等と情報交換を行う。

### 平成30年度（2018年度）

#### 【連携事業】

- ・ 市立博物館収蔵資料展「美しいもよう」の関連事業として「万祝スタンプ」の活用と藍染体験等のワークショップを開催。また、試作品の販売も同時に行う。
- ・ 市図書館が実施した本の福袋（春のハッピーバッグ）に「万祝スタンプ」を活用
- ・ アメリカ・ベリンハム市との姉妹都市締結60周年を記念して、万祝データを活用してトートバッグを製作し、記念品として贈呈。
- ・ 3月9日（土）、館山商工会議所青年部主催の「城山ふるさとまつり」において、ワークショップ「十二神将色付け体験」と3Dプリンタのデモンストレーション、試作品の販売を行う。

#### 【調査・研究事業】

- ・ 8月24日（金）万祝型紙撮影（渚の博物館）・手力雄神社神輿彫刻（博物館寄託）3Dデータ取得（本館）

### 平成31年度/令和元年度（2019年度）

#### 【連携事業】

- ・ 市立博物館所蔵の万祝型紙から取得したデータを活用して製作した、バッグ、箸セット、クリアファイルをふるさと納税の返礼品に登録。
- ・ 市立博物館所蔵の万祝型紙から取得したデータを活用して製作した、バッグ、箸セット、クリアファイルを市立博物館及び“渚の駅”たてやまにて販売を開始。
- ・ オーストラリア・ポートスティーブンス市との姉妹都市締結10周年を記念して、万祝データを活用してトートバッグを製作し、記念品として贈呈予定。